

# 「野洲川の取組方針」に基づく平成 29 年度の取組内容

(●：モデル市としての取組      ○：モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施する取組)

番号	取組内容	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市※注
----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------

## ①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組

### ■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

G	広域的な連携に資するタイムラインへの見直し	●	● H29 年度より他 機関と連携が図 られたタイムラ インの策定に向 けて取組中	●	● 検討中	● 検討中	○	
---	-----------------------	---	--	---	----------	----------	---	--

### ■ハザードマップの作成・周知等

D	想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新（避難経路の追加等）および周知	● H32 年度 更新準備中	● H31 年度以降 更新予定	● H31 年度以降 更新予定	● H31 年度以降 更新予定	● H31 年度以降 更新予定	● H32 年度以降 更新予定	
E	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	●	●	●	●	●	○	
G	逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	○	○	●	○	○	○	
G	避難誘導マニュアルの作成	継続	継続	継続	継続	継続	継続 H28.1 指針作成	

### ■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

H	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組	継続	継続	継続	継続	継続		
H	「我が家の避難カード」の作成	継続	継続	継続 H26 に作成・全戸 配布、H31 以降に 再度作成予定	継続	継続		
H	小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	継続	継続	継続	継続	継続		
H	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・野洲川周辺の現地調査	○	○	○	○	○		

### ■避難行動のための情報発信等

F	避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及（無線のデジタル化等）	継続 屋外スピーカー 1 基増設、 移動系防災行政 無線は 4 基増設	継続 登録制メールに 加え、本市に適 した情報伝達手 段を検討中	継続 移動系防災行政 無線は H30 以降 整備（デジタル化）	継続 デジタル化済、 新スプリアス対 応を検討中	継続		
---	--	---	--	--	-----------------------------------	----	--	--

※注 県管理区間の取組方針策定とあわせて平成 29 年度から検討を進める。

(●：モデル市としての取組 ○：モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施する取組)

番号	取組内容	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市※注
----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------

■避難行動のための情報発信等

F	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	継続 約6,000人がメール登録	継続 約5,400人がメール登録	継続 約2,700人がメール登録	継続 メールサービスを統一 約4,000人がメール登録	継続 約11,600人がメール登録	継続 タウンメール・ケーブルテレビで配信	
---	--	---------------------	---------------------	---------------------	-----------------------------------	----------------------	-------------------------	--

②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組

■水防体制の強化

I	水防団員や消防団員の募集の強化	継続	継続	継続	継続 必要団員数を確保済み	継続	継続	
I	自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立上げサポート等）	継続 209町内会中、200町内会で結成済み	継続 70自治会全てで結成済み	継続 124自治会中、118自治会で結成済み	継続 作成済み	● 43区全てで結成済み	継続	
I	水防技術に関する勉強会の実施	継続	継続 毎年、防災訓練時に実施	継続 毎年実施	継続 毎年実施	継続		
J	市を越えた水防訓練の検討		● H30年度予定		● 出来ていない		継続 竜王町と合同訓練	
J	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	継続 16台を維持管理	継続 整備済み	継続 17台を維持管理	継続 消防団に整備済み	—		

■水防活動支援のための情報公開、情報共有

K	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検（国管理区間）	継続	継続	継続	継続	継続		
K	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検（県管理区間）	○	○	○	○	○		

③生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための復旧活動の取組

■排水活動及び施設運用に関する取組

M	基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練の実施	●	●	●	●			
M	浸水が4週間以上に及ぶ湖岸地域の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成	○	○	○	○	○		
M	広域的に資材を運用するための調整の実施	○	○	○	○	○		

□：協議会全体の取組 □：国または県と協働した取組

※注 県管理区間の取組方針策定とあわせて平成29年度から検討を進める。

「水防災意識社会再構築ビジョン」を推進するため、野洲川では平成27年12月に沿川市長、滋賀県、気象台、国で構成する野洲川地域安全懇談会を設立しました。今回、近畿地方初となる県管理区間の取組範囲の拡大、国と県が連携した上下流一体のサポート体制を構築していくことを確認しました。また、野洲川での取組内容について、沿川市長と意見交換を行いました。

概要 第3回 野洲川地域安全懇談会



- 日時：平成29年5月24日(水)10:10～12:00
- 場所：野洲市総合防災センター 2階 研修室1・2
- 出席者：草津市長、守山市長、栗東市長、野洲市長(座長)、湖南市長、彦根地方気象台長、滋賀国道事務所長、琵琶湖河川事務所長、滋賀県流域政策局長、  
 <今回より参画> 近江八幡市長、甲賀市長、  
 滋賀県技監(南部土木事務所長事務取扱)、  
 滋賀県技監(甲賀土木事務所長事務取扱)

○ 「規約」、「野洲川の取組方針」の変更

県と国が協力し、上下流一体となって支援する枠組みを構築するため、懇談会の取組範囲を県管理区間にまで拡大し、委員の追加および取組方針の変更を行った。

谷畑 湖南市長

直轄と県区間、上下流一体となった取り組み、特に治水、水防の観点でお願いしたい。



新規委員 岩永 甲賀市長



新規委員 富士谷 近江八幡市長

上流側の自治体の防災上の役割は大きいと考えており、上流域の役割を果たしていきたい。

命と財産を守る行政の仕事のため、皆様の御力御指導を頂いて取り組んでいきたい。

○ 今後の県管理河川の取組

野洲川の外、甲賀・湖南圏域におけるその他の県管理河川も含め、本懇談会で取組をすすめていくことで合意した。

○ これまでの取組報告および今年度の取組内容

国・県・各市から、これまでの取組報告と今年度の取組内容を意見交換し、今後も各機関が連携していくことを確認した。

草津市

住民とワークショップを開催し、避難経路、危険箇所等について住民からの意見をハザードマップに反映した。



野洲市

研修会を開催し、自主防災組織のリーダーを育成し、地域の自主防災力の更なる向上を図った。

○ 地域の活性化・健康増進に寄与する河川整備



管理用通路を「ピワイチ」の「よりみちコース」として、県管理区間も含めた河川整備を行い活用するとともに、西日本のサイクリストの聖地をつなぐ構想を提案した。



宮本 守山市長

琵琶湖から国道8号までサイクリング、ランニング等できるようになり、河川に親しめるものになっている。

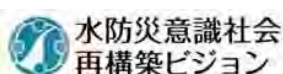
琵琶湖河川事務所長

地域と連携して「ピワイチ」の「よりみちコース」としての活用を視野に、管理用通路やかわまちづくりを実施することにより、地域活性化・健康増進に寄与していく。管理用通路は、住民の避難ルート確認等にも活用する。

野村 栗東市長

国と県の連携の効果は、防災面でも有効と考えるので、直轄と県で分けて進めていきたい。

琵琶湖河川事務所では、水防災意識の再構築に向け、沿川自治体と協力し、水害に強い地域を目指すとともに、地域振興に貢献します。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
 琵琶湖河川事務所 調査課  
 077-546-0844 (代表)





平成30年3月29日、第4回野洲川地域安全懇談会を開催し防災教育に関して先行的に取り組む学校や、自転車を活用した地域活性化の取り組みなどについて意見を交わしました。

概要

- 日 時：平成30年3月29日(水)15:00～15:30
- 場 所：野洲市総合防災センター
- 出席者：近江八幡市副市長、草津市副市長、守山市長、栗東市長、甲賀市長、野洲市長(座長)、湖南市長、彦根地方気象台長、琵琶湖河川事務所長、滋賀県流域政策局長、滋賀県技監(南部土木事務所長事務取扱)、滋賀県技監(甲賀土木事務所長事務取扱)



○ 「防災教育の促進」について

「防災教育の促進」について、先行的に取り組む学校として、「栗東市立葉山小学校」で取り組むことを確認した。



野村 栗東市長  
葉山小学校にて、皆様方と一緒に防災教育の推進に努めて参りたい。

○ 野洲川放水路通水40年を迎えるにあたって

平成31年の通水40年を迎えるにあたり、各機関が連携して様々な取り組みを行っていくことを確認した。



宮本 守山市長  
地域の皆様はこの機会を防災の大切さを知ってもらう場としたいと思っている。  
関係市と連携しながら取り組めたらうれしい。

○ 地域の活性化・健康増進に寄与する河川整備

平成29年度に整備を行った自転車を活用した地域活性化・健康増進のための河川整備について紹介した。



宮本 守山市長  
健康増進の取組には大変感謝している。上流への延伸や、大阪湾から野洲川源流までのルートができればいいと思う。



伝えよう未来へ。考えよう未来を。

琵琶湖河川事務所では、水防災意識の再構築に向け、沿川自治体と協力し、水害に強い地域を目指すとともに、地域振興に貢献します。

【問合せ先】国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844(代表)



# 野洲川で地域活性化に向けた現地調査を実施 ～自転車を活用した地域活性化へ～

H29. 10. 18

～琵琶湖河川事務所～

野洲川周辺地域の地域活性化を目指し、8月末に供用した野洲川の管理用通路を活用したサイクリングロードを、琵琶湖河川事務所職員と自治体職員とで試走による現地調査として、管理用通路の点検やサイクリングロードの点検を行うとともに、自転車を活用した地域活性化について意見交換を行いました。

また、調査の途中では、地域住民と連携したサイクリングによる避難経路の確認を視野に、野洲川が破堤した場合の浸水状況を浸水想定区域図等を用いて確認を行いました。

## 現地調査の概要

日時：平成29年10月18日(水) 13:00～15:30

場所：サイクリストの聖地碑(琵琶湖沿岸なぎさ公園内)～しあわせの丘(野洲川河口部)

～笠原桜公園・笠原の桜(旧南流堤防)～国道8号(野洲川運動公園)

主催：野洲川地域安全懇談会

参加者：滋賀県、守山市、野洲市、栗東市、甲賀市、竜王町、琵琶湖河川事務所(合計26名)



### 【主な意見】

- ・内陸部から琵琶湖沿岸への移動路として、野洲川はショートカットとして利用できる良いコース。
- ・テーマを決めて野洲川周辺の名所と連携したコース設定を行うと良い。
- ・野洲川には水分補給が出来る箇所がないため、近くにコンビニ等水分補給が出来る箇所があると良いと感じた。
- ・野洲川の管理用通路は走りやすい道だったが、橋梁部の車止めは自転車では通りにくい。



### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0867



アクア琵琶は今年で開館25周年！！





琵琶湖河川事務所は、守山市主催のマラソン会場において、「水ビジョンに基づく野洲川の取組方針」等に基づき、近年の洪水災害を踏まえた避難行動の重要性などに関する啓発活動を行いました。

本大会は、野洲川の堤防や高水敷等がコースの一部で、旧野洲川北流の廃川跡のサッカー場がメイン会場となっており、改修前の航空写真に興味を示される参加者が多く見られました。多くの参加者に各事業や取り組みを紹介することができました。

## 概要

「ほたるのまち守山 第35回 野洲川健康ファミリーマラソン大会」

○主催：守山市，守山市教育委員会（琵琶湖河川事務所後援）

○日時：平成30年3月4日（日）

○参加者：約1,000名

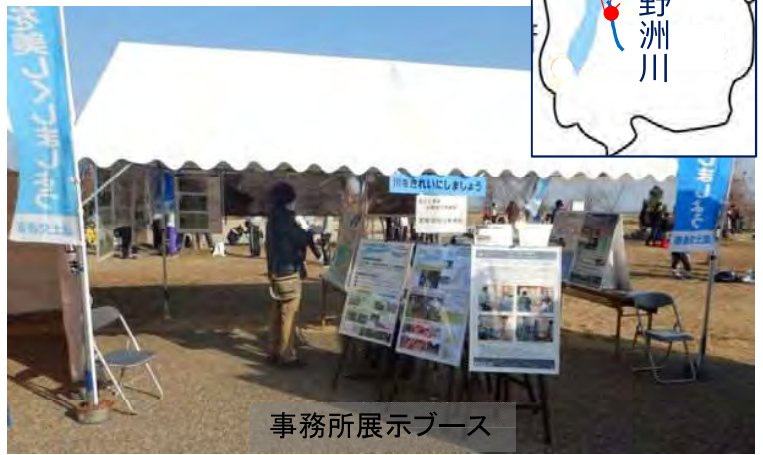
実施場所  
(守山市)



## イベント会場の様子



イベント会場風景



事務所展示ブース

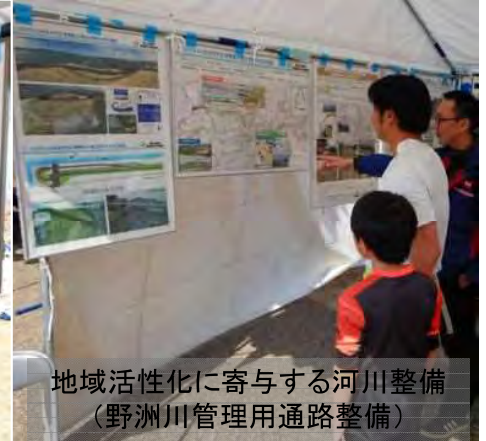
## 啓発活動の様子



水ビジョン(避難行動の重要性)



野洲川の変遷



地域活性化に寄与する河川整備  
(野洲川管理用通路整備)



琵琶湖河川事務所の啓発活動紹介(出前講座等)

## 説明を聞いた方の感想

- ・南流、北流があった当時の野洲川の洪水被害がよく分かった。放水路ができて良かった。
- ・想定最大の雨が降ったときの浸水状況をもっと分かりやすく知りたい。
- ・野洲川またはその周辺で自転車などをもっと自由に使える場所ができて欲しい。

大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。



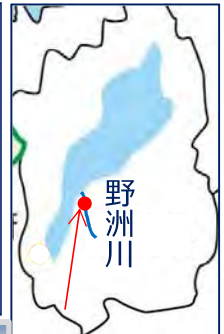
来年2019年は、  
野洲川放水路  
通水40年!

【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)





- 水防災意識再構築ビジョンの取り組みとして、7月2日(日)に開かれたイベント「第36回野洲川冒険大会(於:滋賀県守山市)」において、イベントに訪れていた家族連れの方などに啓発活動を行いました。
- 本イベントは、野洲川冒険大会実行委員会が主催(琵琶湖河川事務所など後援)し、守山市の社会教育事業の一環として昭和57年から現在まで約30年以上も続いている大会です。
- 子どもたちにはチラシと併せて、人気のピワイチすごろくを配り、また正しい川での遊び方なども周知しました。



実施場所  
(守山市)

- 日時 : 平成29年7月2日(日) 10:30~13:30
- 場所 : 野洲川中洲親水公園(滋賀県守山市)
- イベント参加者 : 滋賀県内外の親子連れなど約400名



個性の光るイカダが勢揃い

自慢のイカダで川下り

### イベント会場の様子



### 啓発活動の様子



説明を聞く子どもたち



啓発パネル



熱心に見入る子ども



守山市長



チラシとすごろくを配布

大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

今年で アクア琵琶は  
開館25周年!!



【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)





# 水を知り、地域の未来を考える

～住民の疑問・関心を共有し、地域と共に学ぶ～

野洲川放水路事業以前の<sup>かながもり</sup>水害を知る滋賀県守山市金森地区の住民と、当地域の地理特性や歴史をとおして、水害に対する備えについて意見交換を行いました。

琵琶湖河川事務所からは「水防災意識社会再構築ビジョン」の理念や野洲川地域安全懇談会で進める取組、野洲川放水路事業などについて説明し、地区の参加者からは日頃から疑問に感じていることの質問を受け、活発な意見交換となりました。

- 主 催：金森老人クラブ
- 日 時：平成30年1月10日（水）14:00～16:00
- 場 所：守山市金森自治会館
- 参 加 者：金森老人クラブ14名、守山市職員3名、琵琶湖河川事務所職員4名



次々に質問が飛ぶ



想定される浸水エリアを確認



意見交換の様子

開催へ

①昔の野洲川は、下流で北流と南流に分かれる天井川で、たびたび水害を引き起こしていた。



②1979年、放水路に通水し、水が流れやすくなったことで、水害が起これにくくなった。



③水田などの宅地化が進み、転入者が増えたことで、地域の歴史や水害を知らない世代が増えた。

④各地で想定外の災害が起きる中、この地域の歴史や水害への備えを次世代へ伝えなくてはならない。

## ○ 参加者からの意見・質問

- ・昭和28年の洪水では、この地区辺りまで水がきており、昔から水に浸かり易い場所があった。昔の洪水を知らない世代にも伝えていきたい。
- ・水害経験を伝える時、相手を不安にさせないように注意しなくてはならない。
- ・金森地区は旧河道が通っていたので、大雨の時に水が集まるのではないかと不安だ。
- ・避難を判断する際の数値的な目安を知りたい。
- ・浸水想定区域図の見方や活用の仕方がわからない。
- ・こういう勉強会をこれからも行っていきたい。



来年2019年は、野洲川放水路通水40年を迎えます。

## 【問合せ先】

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

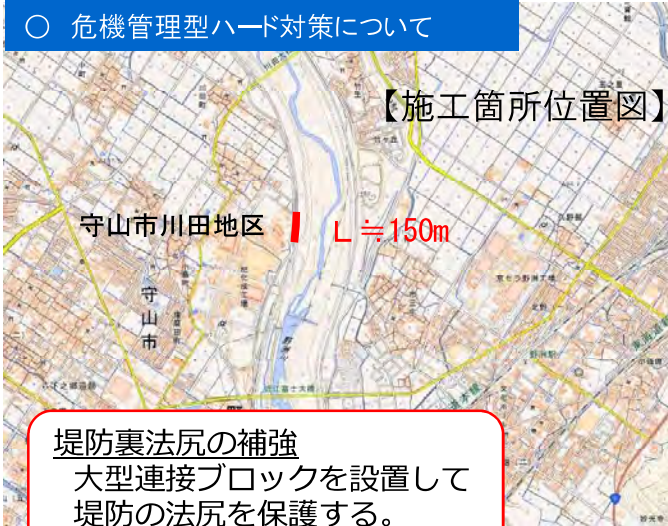




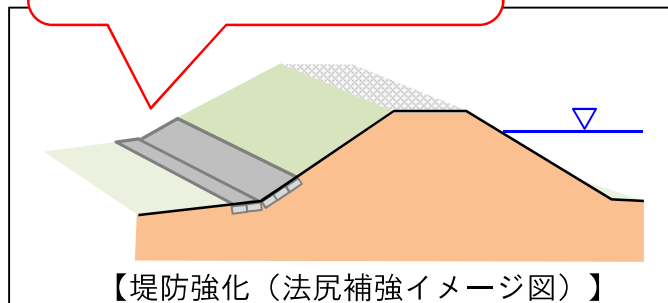


守山市川田地区において、堤防決壊を少しでも引き延ばすため、堤防の法尻補強の工事を実施しました。また、洪水を河川内で安全に流すため、守山市服部町地先において樹木の伐採、野洲川下流部において樹木の公募伐採を実施しました。

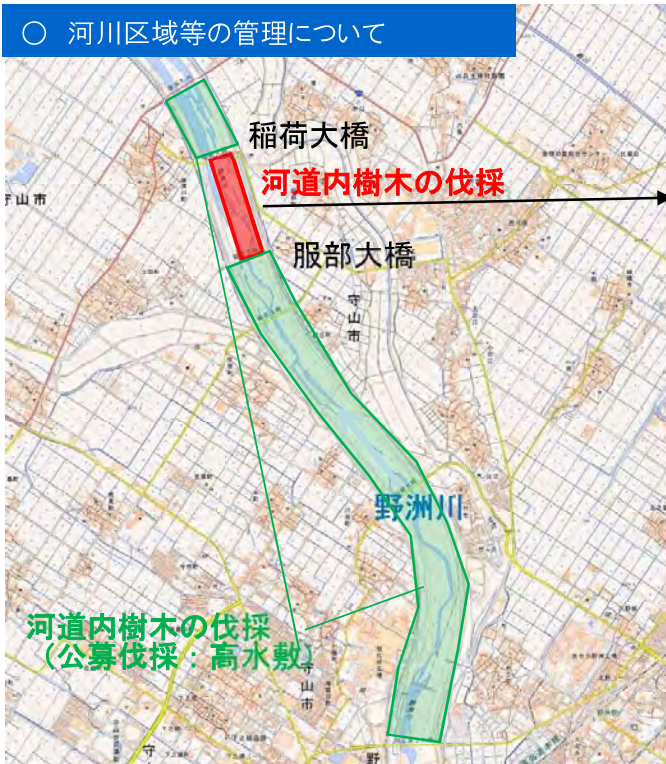
○ 危機管理型ハード対策について



堤防裏法尻の補強  
大型接続ブロックを設置して  
堤防の法尻を保護する。



○ 河川区域等の管理について



守山市服部町地先  
【河道内樹木伐採状況】



守山市小島町地先  
【公募伐採実施状況】

緊急行動計画に伴う取組

目的

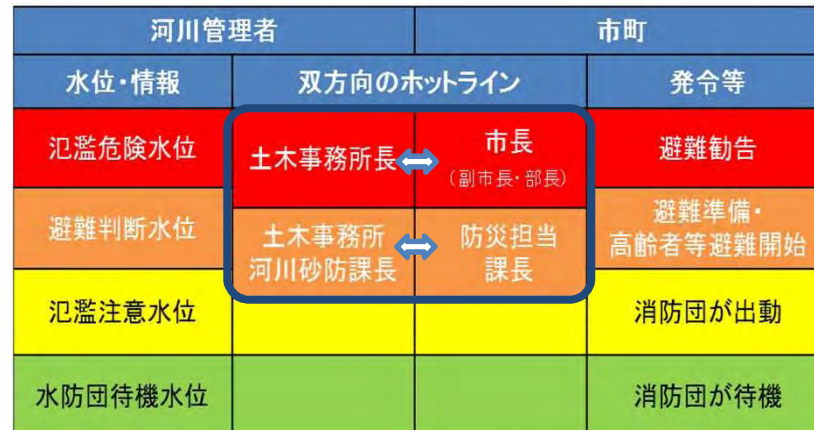
避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

取組概要

- ・協議会の場等を活用し、洪水予報河川および水位周知河川の沿河市等と河川管理者においてホットラインを構築
- ・毎年、出水期前に協議会の場等において連絡体制を確認

取組内容および結果

- ★平成29年6月末時点で、全ての市とホットラインを構築
- ★平成29年度より試行版として運用を開始
- ★平成29年度運用実績  
台風第21号 16回  
(野洲川地域安全懇談会エリア)



水位の名称	発表される避難情報(目安)	野洲川上流		杣川	日野川		草津川
		横田橋	水口橋	北杣橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
氾濫危険水位	避難勧告 避難指示(緊急)	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位	避難準備 ・高齢者等避難開始	3.50	1.20	3.50	3.80	3.40	3.40
氾濫注意水位	消防団が出動	2.50	1.00	3.00	3.00	2.70	3.10
水防団待機水位	消防団が待機	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から氾濫するまでの想定時間		4時間	2.5時間	3時間	2.8時間	2時間	4.5時間

洪水対応 ホットライン 要領(案)  
(平成30年度版)

概念図

連絡先

土木事務所(河川管理者)				市町(水防管理団体)			
①所長	〇〇〇〇	077-824-xxxx	Level 4	①市町長	〇〇〇〇	077-828-xxxx	
②次長	〇〇〇〇	077-824-xxxx		②副市町長	〇〇〇〇	077-828-xxxx	
③河川砂防課長	〇〇〇〇	077-824-xxxx	Level 3	③危機管理課長	〇〇〇〇	077-828-xxxx	
④水防課長	〇〇〇〇	077-824-xxxx		④総務課長	〇〇〇〇	077-828-xxxx	

※ 連絡先は勤務所を基本とするが、両方で確実に直接伝達できる措置を講ずること。

一覧表 (対象河川・水位観測所) [〇〇市町]

発表種別	洪水予報河川		水位周知河川	
	河川名	観測所	河川名	観測所
氾濫危険水位				
避難判断水位				
注水500mm想定時間				
水防上り要請				
氾濫注意水位				
水防団待機水位				
ネット編成				
消防団待機水位				
既往最高水位				

今後の予定

- ・毎年、出水期前に連絡体制の確認を行う

緊急行動計画に伴う取組

取組概要

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成への支援

取組内容および結果

取組の流れ	実施機関	実施年度
① 各要配慮者利用施設（社会福祉施設・医療提供施設・学校施設等）における水害・土砂災害リスクを抽出し、市町に情報提供	滋賀県 健康福祉政策課 流域治水政策室	H29年度
② 要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き（案）【水害・土砂災害編】（滋賀県版）の作成と周知	滋賀県 砂防課 流域治水政策室	
③ 市町地域防災計画への位置づけに関する意見交換	協議会担当者会議	

取組①

各要配慮者利用施設（社会福祉施設・医療提供施設・学校施設等）における水害・土砂災害リスクの抽出結果【提供資料例】

施設名	【水害リスク】 浸水想定区域図・地先の安全度マップ	【土砂災害リスク】 土砂災害警戒区域 土砂災害危険箇所
近江八幡市	178	12
草津市	177	0
守山市	201	0
栗東市	97	2
甲賀市	85	16
野洲市	125	4
湖南市	63	22

抽出した各リスク毎の施設数

市町	浸水	土砂
近江八幡市	178	12
草津市	177	0
守山市	201	0
栗東市	97	2
甲賀市	85	16
野洲市	125	4
湖南市	63	22

※GISを用い代表地点住所情報より算定した概数

取組②

要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き（案）【水害・土砂災害編】



要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き（案）【水害・土砂災害編】（滋賀県版）を作成し、説明会を実施。

取組③

下記の取扱いについて、19市町の意向調査を行い、各圏域担当者会議等において意見交換を実施。

- 水防法等の対象外である「地先の安全度マップ」や「土砂災害危険箇所」で示されたリスク
- 50cm未満の水害リスク
- 位置づける施設の種類（通所と入所、有床診療所と一般診療所）

今後の予定

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成について、モデル施設を圏域で1施設選出し、計画作成を支援する予定

緊急行動計画に伴う取組

目的

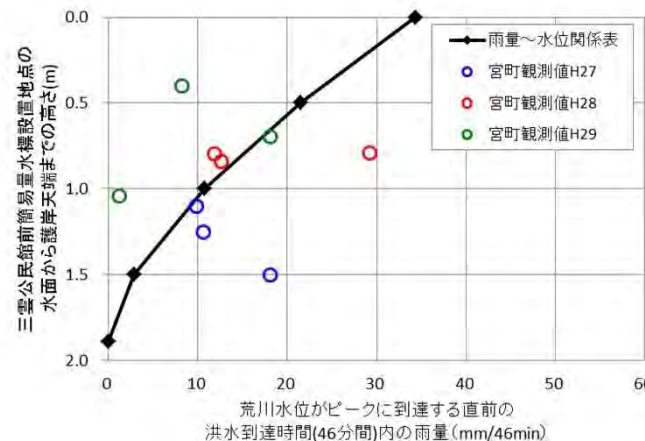
河川水位等に係る情報の提供

取組概要

- ・上流の雨量観測所データから、荒川の溢水時期を判断するための雨量～水位関係を検討

取組内容および結果

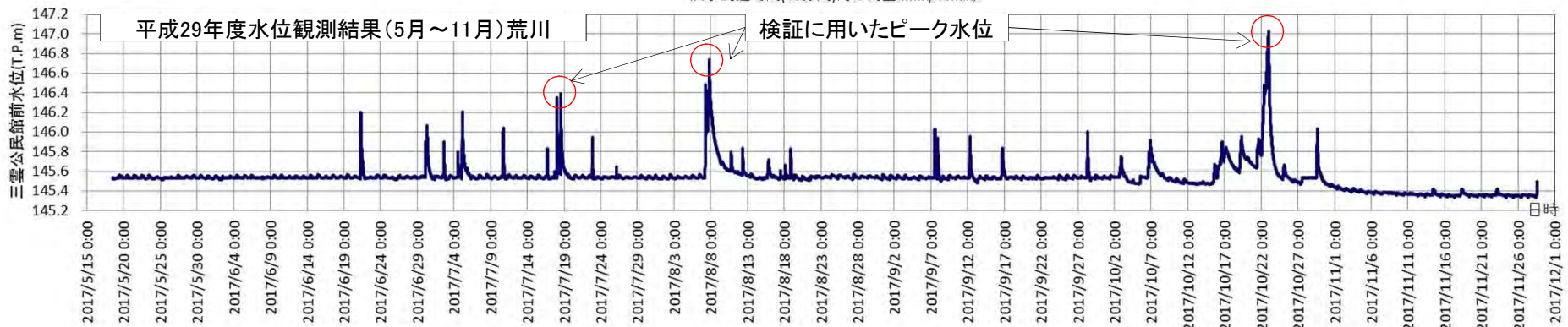
★雨量～水位関係の向上にあたり、洪水時の河川水位監視箇所にて水位観測によるデータ蓄積を行った。



【水位計設置箇所位置図(荒川)】

【平成29年度水位観測結果(荒川)】

三雲公民館前で水位連続観測を行った。



今後の予定

- ・荒川の雨量～水位関係の精度向上のため、宮町の雨量観測所だけでなく、花園・伴中山の雨量観測所についてもデータとの相関を継続して確認していく予定

取組内容

早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難勧告等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有

滋賀県

県管理河川への拡大に伴う取組

目的

避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備

取組概要

・地域住民等による水位情報取得を支援するため、中小河川等に塗装による簡易量水標を設置

取組内容および結果

湖南市石部



背景図出典：  
国土地理院基盤地図

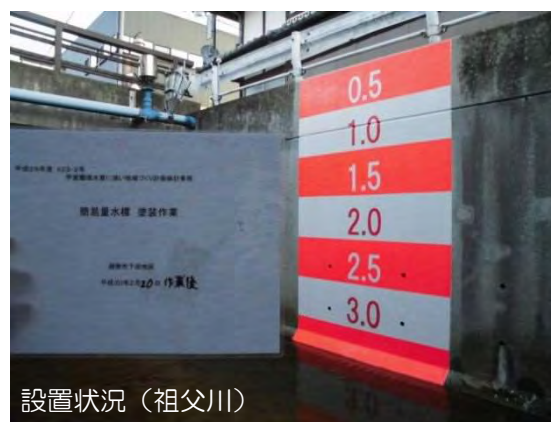


設置状況（宮川）

湖南市下田



背景図出典：  
国土地理院基盤地図



設置状況（祖父川）